



[対象]
**小・中学校の
教員**
全教科等

受付期間

2025年 2025年
8月1日(金)～9月2日(火)
15時 送信完了分まで

助成

入選者
10万円

全応募者に審査講評と
ソニー製品等を贈呈

後援



全国都道府県教育長協議会
全国連合小学校長会
全日本中学校長会

公益財団法人
ソニー教育財団

子どもたちの資質・能力を育む 未来へつなぐ 教育計画

2025年度 ソニー子ども科学教育プログラム **小・中学校の教員向け**

「課題にもとづいた教育方針と実行計画」を論文にまとめて
応募してみませんか

未来を担う子どもたちに必要な資質や能力を考え、日頃から指導の改善や
創意工夫を行っている先生方のこれからの教育方針と実行計画をテンプレ
ートに沿ってまとめた論文を募集しています。

応募いただいた全ての教員に助成などの支援をしています。

論文テーマ	「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」
募集対象	国・公立・私立の小学校、中学校、特別支援学校等の教員(管理職可)
募集内容	課題にもとづいた教育方針と実行計画
募集期間	2025年8月1日(金)～2025年9月2日(火) 15時 送信完了分まで
応募方法	ソニー教育財団ウェブサイトの専用応募フォームから送信
助成内容	[入選者]10万円とソニー製品等
発表	2026年1月中旬以降 当財団ウェブサイトにて発表予定
審査委員会	[審査委員長] 杉野 剛 独立行政法人日本学術振興会 理事長 [審査委員] 清原 洋一 学校法人秀明学園 秀明大学 教授 50音順 熊平 美香 一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事 手代木 英彦 ソニーグループ株式会社 社友 山下 修一 国立大学法人千葉大学 教授

募集内容

- テーマ** | 「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」
- 内容** | 課題にもとづいた教育方針と実行計画(全教科等 ※教育課程内の活動)
- 課題** | これからの時代を生きていくためには夢と好奇心と高い志を持ち、未知のものを探究し、新しいものを創造していこうとするなどの資質や能力が求められます。こうした資質を伸ばし、能力を育成するための教育方針と実行計画について提案してください。

助成内容

＼ 審査講評とソニー製品等を全応募者へ贈呈 /

入選者

- 研究助成金 **10万円** 使用用途の指定はありません
- ソニー製品等

全応募者

- ソニー製品等

審査

審査の観点

① 育てるべき資質や能力

明確性、必然性、こだわり(信念、想い)など

未来を担う子どもたちに必要と考える資質や能力についてその必要性を踏まえて自分なりの設定がされている。

② 子どもたちの現状

客観的分析、裏付けとなる情報とその信憑性など

子どもたちの状況、学習レベルなどを客観的に把握し、確かな情報を基に子どもたちの現状が述べられている。

③ 教育支援の方針

妥当性、必然性、将来性、着眼点など

現在の状況を踏まえ、過去の実践経験や知見(失敗)なども加えて、教育支援の方針が述べられている。

④ 実行計画と準備状況

実現性、継続性、具体性、新規性、汎用性など

③で述べた方向性をもとに、具体的な実行や行動に落とし込み、来年度以降の実行計画と準備状況が述べられている。「いつ、何を、どのように行うのか」

審査委員会

審査委員長	杉野 剛	独立行政法人日本学術振興会 理事長
審査委員	清原 洋一	学校法人秀明学園 秀明大学 教授
	熊平 美香	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事
	手代木 英彦	ソニーグループ株式会社 社友
	山下 修一	国立大学法人千葉大学 教授

50音順

募集要領

受付期間 | 2025年8月1日(金)～2025年9月2日(火) 15時 送信完了分まで

募集対象 | 国・公・私立の小学校、中学校、特別支援学校等の教員(管理職可)

- 1校から複数名の応募可。ただし類似する内容は不可。
- ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「未来へつなぐ教育計画」へは応募できません。

応募方法 | Web応募(詳細は本紙裏面に記載)

入選発表 | 2026年1月中旬以降 ソニー教育財団ウェブサイトにて発表予定

成果発表 | 入選者には以下の成果発表を行っていただきます。

- 論文の全文公開(写真を含む)
- 提案した計画(もしくはその一部)を実行し、2026年度「子ども科学教育研究全国大会」のポスターセッションにて成果(経過)発表

作成規定

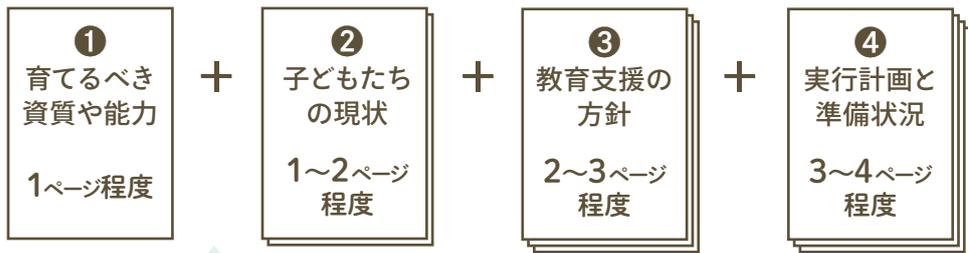
- すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外です。
- 論文以外の参考データ(動画等)は受け付けません。
- 本文中の図表などで読み取れないもの(サイズが小さい、画像が不鮮明等)は、審査対象外です。

論文は公開するため、個人情報の取扱い、著作権侵害、捏造や改ざん、社会への影響など倫理面への配慮をお願いします。

当財団ウェブサイトよりテンプレートをダウンロードし下記①～④の項目をまとめてください

A4

A4判
10ページ以内



- 【ページ数】 合計10ページ以内
- 【文字サイズ】 [本文] 10.5ポイント以上
[図表] 8ポイント以上
- 【図表】 本文を補完するものに限る
- 【参考・引用文献】 本文中に明記

テンプレートは
docxとPDFの2種類です
使いやすい方をご利用ください



ダウンロードはこちらから
<https://www.sony-ef.or.jp/program/>

ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

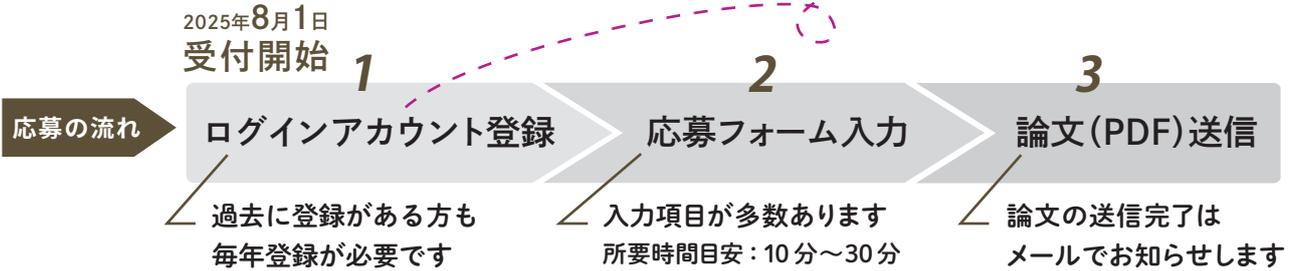
論文、学校名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。応募情報(論文含む)は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。ご応募いただく論文は、関連するすべての権利(本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない)を、応募者が保有しているものに限ります。

Web応募方法

締切は2025年9月2日(火)15時送信完了分まで

登録方法が
変わります

ソニー教育財団の論文応募サイト (<https://www.sony-ef.or.jp/>) よりご応募ください。
ご応募にはログインアカウントの登録が必要です。



趣旨

現在日本は、経済のグローバル化や人工知能の進化、そして少子高齢化など、様々な急速な社会的変化に直面しています。さらに、より高度な情報・知識に基づく多様で高い付加価値の提供が求められる社会状況の中で、子どもたちが生き抜き、人生を切り拓いていくために求められる資質や能力を育むことはとても重要です。教育課程においてその資質や能力を育むことに積極的に取り組んでいる先生を応援します。

2024年度入選者

高橋弾

釧路市立共栄中学校

片桐敏起

新潟市立松浜中学校

澤田康介

国立大学法人北海道教育大学
附属釧路義務教育学校

深谷瞬

刈谷市立朝日中学校

中村誠

さいたま市立神田小学校

福井明

国立大学法人大阪教育大学附
属池田中学校

齋藤悠真

学校法人国本学園
国本小学校

高野将吾

朝倉市立甘木中学校

牧野友紀子

横浜市立青木小学校

齋藤祐聖

国立大学法人鹿児島大学
教育学部附属小学校

(敬称略)

ソニー教育財団について — 学校・園の先生を応援しています —

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと拡がりました。井深の志を受け継ぐ事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、65年以上続く論文事業の他、優れた教育・保育実践の公開や発信、未来志向の教員・保育者向け研修会、子どもに科学の原理を伝える「ものづくり教室」など、教育現場と未来を生きる子どもたちを支援するさまざまな活動を行っています。



公益財団法人 ソニー教育財団
Sony Education Foundation

〒140-0001
東京都品川区北品川4-2-1 御殿山アネックス2号館4F
Tel: 03-3442-1005

<https://www.sony-ef.or.jp/>

